

2025年8月22日

宇宙サービスイノベーションラボ事業協同組合

宇宙技術で日本の農林水産業の未来を共創する、事業アイデアコンテストを始動

宇宙サービスイノベーションラボ事業協同組合（SSIL、代表理事：神武 直彦）は、宇宙技術を農林水産業に適用する事業アイデアコンテスト「衛星データ活用アワード 2025-2026」（以下、本プログラム）において、農林中央金庫（代表理事理事長：北林 太郎）の協賛の下、推進役を務め、8月22日より募集を開始しました。

本プログラムは、衛星データ等を活用して農林水産業の課題解決を促進することを目的とし、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）および経済産業省主催の「NEDO Challenge, Satellite Data -農林水産業を衛星データでアップデート！-」と共催で実施されます。

農林中央金庫はメインスポンサーとして協賛し、事業化支援を行い、アイデアの社会実装を強力に後押しします。SSILは本プログラムの事務局として運営を取りまとめます。

1. 本取り組みの目的

日本の農林水産業は、担い手の高齢化や後継者不足、気候変動の激化による生産環境の変化、食料安全保障リスクの高まりなど、多くの構造的課題に直面しています。

衛星データ等を活用した精密農業による生産性向上や、広域的な生育状況把握によるサプライチェーン最適化など、宇宙技術は農林水産業においても大きな課題解決の可能性を秘めています。

本プログラムでは、異業種・異分野の知見を結集し、革新的なアイデアを全国から募集。発掘したアイデアを事業化までつなげることで、農林水産業の持続可能な発展を目指します。

2. コンテスト概要

「衛星データ活用アワード 2025-2026」は、日本最大級の宇宙×農林水産業分野ビジネスアイデアコンテストです。懸賞金制度を活用し、革新的な技術やサービスの創出と社会実装を後押しします。

主催・運営体制

- ・ 主催者：衛星データ活用アワード 2025-2026 実行委員会
運営：宇宙サービスイノベーションラボ事業協同組合（SSIL）
協賛：農林中央金庫
- ・ 協力：国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）

主な特色

- ・ 公的機関協力による信頼性：NEDO 協力、日本最大級の衛星データ分野公募
- ・ 支援体制：賞金提供＋事業化メンタリング＋産学官連携ネットワーク
- ・ 対象テーマ：精密農業、生育予測、サプライチェーン最適化、環境監視、資産評価・融資の推進、など
- ・ 社会的意義：持続可能な食料システム構築に貢献

農林中央金庫はプラチナスポンサーとして賞金提供や事業化支援を行い、SSILは事務局として運営全般を担います。

プログラム名		衛星データ活用アワード2025-2026
募集 テ ー マ	プラチナ協賛企業 農林中央金庫の募集テーマ	農林水産業の「稼ぐ力」や持続可能で「強靱な食料システム」の実現に向けたアイデア
	共通テーマ ※共催するNEDO Challengeの テーマでも募集いたします	1. 生産現場の課題解決に資する事業アイデア 2. 資源の管理・監視および物流の高度化に資する事業アイデア
応募資格		日本国内の法人、個人、グループで、上記テーマの事業アイデアを有する者
プログラム実施期間		2025年8月18日(月)～2026年7月15日(水) 表彰式は2026年7月15日(水)予定
表彰・賞金		最優秀賞 300万円、審査委員特別賞 10万円
応募方法		事業アイデアを所定の様式に記載し、公式サイトより提出

公式サイト：<https://space-data-challenge.nedo.go.jp/>



3. 農林中央金庫につきまして

農林中央金庫は、「持てるすべてを『いのち』に向けて。」からはじまるパーパス（私たちの存在意義）のもと、中期ビジョン「Nochu Vision 2030」を策定しています。同ビジョンにおいて「IT デジタルを活用したデータビジネスの展開や新たな食農バリューチェーンの構築」を主な取組みに掲げており、本コンテストでのオープンイノベーションを通じて日本の農林水産業が直面する課題解決に挑み、アイデア発掘から事業投資までを一気通貫で支援することで、新たな価値を創造いたします。

4. SSIL の概要と役割

SSIL は、国内 8 大学とこれらから生まれた 13 社の大学発スタートアップによる連携コンソーシアムです。測位衛星・観測衛星・通信衛星の全分野にわたる知見と経験を有し、経済産業省主催の衛星データ活用事業でもプロジェクトマネージャーを務めてきました。

SSIL は、衛星・ドローン・IoT・AI 解析などの先端技術を統合し、防災、都市づくり、環境保全、農林水産業など多分野でサービス開発と実証を推進しています。本プログラムでは、その技術基盤とネットワークを最大限に活かし、応募者支援から審査運営、事業化フェーズまで一貫して取りまとめます。

農林中央金庫との連携により、優れたアイデアを社会実装・事業化へと導き、農林水産業の課題解決と新たな価値創造を実現します。

<SSIL の事業ドメインイメージ>

SSIL 事業のドメイン



5. 今後の展開

本プログラムを通じて発掘された優れたアイデアや技術には、多角的な事業化支援を行い、必要に応じて事業投資やパートナー連携を進めます。これらにより、宇宙技術の社会実装を力強く推進し、農林水産業の「稼ぐ力」強化と持続可能で強靱な食料システムの構築を目指します。

【本件に関するお問い合わせ先】

宇宙サービスイノベーションラボ事業協同組合 (SSIL)
事務局

E-mail: satellite_data_award_2025@ssil.jp